



生活クラブ風車 夢風 News

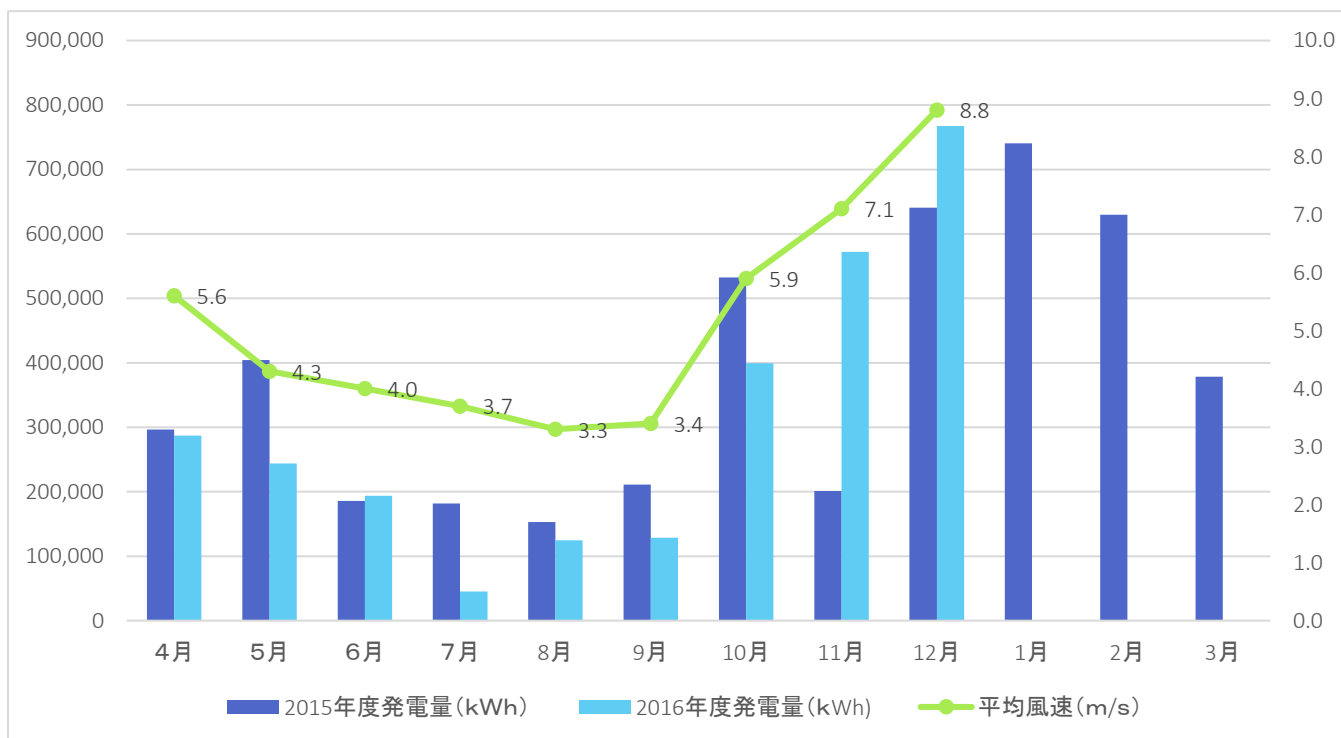


Vol.55

●発行 2017. 1. 15 一般社団法人グリーンファンド秋田
●発行責任者 半澤彰浩(代表理事) ●編集責任者 西村明子

■2016 年度 発電実績

	発電量 (kWh) 【前年比】	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)		発電量 (kWh) 【前年比】	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)
4月	286,904 【96.7%】	5.6	20.0	10月	399,343 【75.0%】	5.9	27.0
5月	243,884 【60.3%】	4.3	16.5	11月	571,908 【284.3%】	7.1	39.9
6月	193,900 【104.3%】	4.0	13.5	12月	767,309 【119.8%】	8.8	51.8
7月	45,130 【24.8%】	3.7	3.1	1月			
8月	124,507 【81.3%】	3.3	8.4	2月			
9月	128,479 【60.9%】	3.4	9.0	3月			



○風況は平年並みでしたが順調に発電し、発電量は前年同月比119.8%となっています。

○風車夢風は風速 4 m/s～25m/s の風速範囲で稼働します。風速 25 メートルを超える風が吹くと自動停止します。12月1日には強風による発電機過回転エラーが1回発生しましたが、異常のないことを確認し、リセット復旧しています。

■ 連携推進協議会 幹事会を行いました。

2016年12月16日、にかほ市総合福祉交流センタースマイル会議室でにかほ市と生活クラブとの連携推進協議会幹事会を行いました。当日は雪のために飛行機が遅れ、予定時間を過ぎての変則的な開催になりました。会議のはじめにかかほ市の齋藤洋総務部長と半澤彰浩生活クラブ神奈川専務理事(連携推進協議会共同代表)よりご挨拶がありました。



齋藤総務部長 佐藤商工観光部長
佐々木総務課長 越川さん

会議では風車「夢風」の稼働状況報告、2016年度の間まとめと2017年度の活動方針案、生活クラブ風車建設5周年イベントの開催案、夢風ブランド開発品の取組状況と活動発表会の開催などについて協議しました。生活クラブ埼玉が佐藤勘六商店と開発に取り組んだ夢風ブランド品



柳下さん 重盛さん 山本さん 林さん
神奈川 埼玉 千葉 東京
常勤理事 専務理事 常務理事 常務理事

「べっぴんさんいちじく」について、重盛専務理事からは、「開発に苦労を重ねたことが、共同購入の金額以上の価値を生んだように思います」という発言がありました。

■ 加工用トマト実験栽培についての協議報告

2016年12月17日に、芹田地区で2年目となる加工用トマト実験栽培のまとめについて芹田営農組合と生活クラブとの協議を行いました。

今年度は、20.6アールに作付し、5月8日に定植を行い、8月から9月初めまで収穫し、収穫量は約6トンとなりました。連作による病気や湿害により、昨年の約3倍の作付面積の収穫量目標10トンにはとどきませんでした。昨年は東北の他の産地でも、8月中旬から曇天と長雨の影響で日照不足や湿害による病気や虫の発生で、トマトの収穫量が大きくダウンしているとの事です。



今年も芹田地区の方々の交流につながっている事や、新米と一緒に自分たちが栽培しているトマトを使った生活クラブのトマトケチャップを親戚に贈って好評だったとの評価を得ています。また、収穫時の人件費

は削れませんが、畝づくりやマルチ張り、株の間隔などを工夫し、経費の削減をすすめる事が次年度に向けた課題として共有しました。

■ 連携推進協議会幹事会で(株)飛良泉本舗を訪問しました。 ■

12月17日生活クラブの幹事会メンバーで(株)飛良泉本舗を訪問しました。当日は、斎藤社長と遠田杜氏にご案内していただきました。新酒の仕込みの真っ最中で、土曜日でも多くの蔵人さんが働いていました。

見学させていただいた時にはちょうど酒米が蒸しあがり、蔵の中にはもうもうと湯気が立ち上っていました。見学しているわずかな時間でも、様々な人の手がかかり、とても大変そうに見えましたが、それでもかかってよりも機械化が進んでおり、楽になったのだそうです。



熱心に説明する遠田杜氏

蒸しあがった酒米は、4mmくらいの半透明で、淡水パールの粒のように見えます。そのままかみしめるとほんのり甘く感じます。この蒸米に、酵母菌をつけ発酵させて麴をつくるそうです。この冬にすでに仕込まれた酒も次々に出来上がってきており、多くのタンクの中でお酒が醸し出されていました。飛良泉本舗のお酒は、今年度の秋田県産酒の全国日本酒鑑評会で純米酒、吟醸酒ともに県知事賞を受賞したそうです。おめでとうございます！夢風酒が同じ蔵で作られていることがとても誇らしく思えます。



県知事賞の杯

■ 夢風ブランドチラシ最新版ができました。 ■

生活クラブ生協の夢風ブランド開発品のチラシができました。2月に取り組みのある今年の「純米大吟醸・夢風」と、「鱈しよつたる」、「タラーメン」について組合員がお勧めコメントをしています。組合員が開発企画に関わってつくられた夢風ブランド品は、組合員に愛着を持たれており、リピーターも増えているようです。まだ、取り組んだ事のない方は、この機会に是非、申し込んでください。このチラシは首都圏4単協の班と個配組合員全員と、デポーに配布されます。



■ 風車に鳥がぶつかることはないの？

夢風を建設するときに、周辺の自然環境への負荷はないかという議論があり、特に野鳥のバードストライクが起きないか心配されました。

環境省は2009年に風車設置に関する適地調査についてのマニュアルを作っています。夢風建設の際も、周辺の環境調査を行いました。その結果、周辺にはまとまった樹木が全く存在せず営巣可能な場所がないため、希少猛禽類その他保護を要する種は存在しないことを確認しています。また、渡り鳥のルートを阻害しないことも確認済みです。

私たち人間も、鳥もほかの動物も、これ以上の温暖化や異常気象が起きてしまえば、今までと同じようには生きていかれません。風力発電など、自然環境にできるだけ負荷をかけないエネルギーを積極的に取り入れて暮らしていきたいですね。



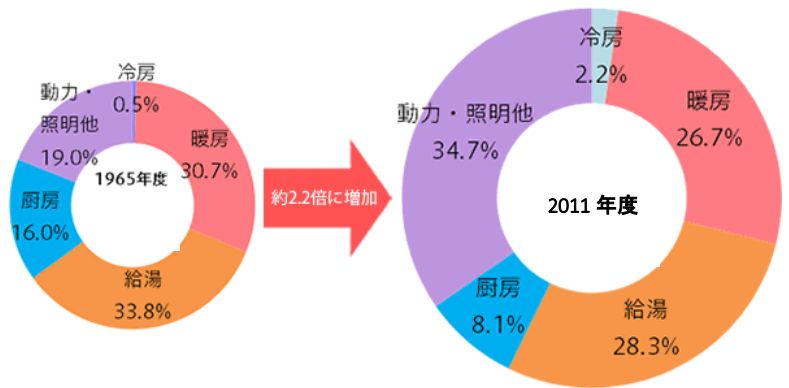
今年は酉年。人も動物も自然環境の中で共存していける持続可能な社会を作っていきましょう。

■ 冬の省エネ、暖房を見直そう

グリーンファンド秋田は㈱生活クラブエナジーから委託を受けて、省エネ講座という学習会の講師をしています。右の表は省エネ講座で皆さんにご紹介しているものです。

円グラフ左は1965年(昭和40年)、右は2011年(平成24年)です。家庭での世帯当たりエネルギー消費量は、2.2倍に増えています。昭和40年ごろといえば、一部屋にコンセントがたった一つ、という事が少なくありませんでした。現代では一部屋に3つ4つとコンセントがあるのが当たり前のようになっています。いかに電気や電化製品に頼って暮らしているのか、改めて思い知らされるようです。

家庭の用途別エネルギー消費の推移



出所：資源エネルギー庁「エネルギー白書2013」より作成

冬の省エネのポイントは暖房と給湯です。家庭の暖房の熱は窓から52%も出て行ってしまっているというデータもあります。厚手のカーテンをかけたり、冷気を防ぐボードを置いたりして冷気を断つなど、工夫して快適な省エネを進めましょう。また、お風呂のシャワーヘッドを節水型に変えると、使用水量が減り、給湯の省エネもできおすすです。

■ お詫びと訂正

夢風ニュース54号の1ページ目の、10月の発電実績の数字に誤りがありました。正しくは399,343kWhでした。お詫びして訂正いたします。